

6 本時の指導（9/16時）

(1) 目標

- ・平行四辺形のかき方を考えることができる。

(2) 研究内容に関わる本時における具体的な手立て

●手立て1 学び合いを深める工夫

① 共有の問題及び問題解決における思考の焦点化

- ・教科書のしんじさんの考え（三角定規を使う）の一部（図）を提示し、平行四辺形のかき方を考えさせて説明につなげる。

② 子ども主体の学び合いの在り方

- ・考え方と操作活動を連動させながら、平行四辺形がかけるわけを話し合うことで、学び合いを深め、平行四辺形の意味や性質を使ってかいていることに気付かせる。

●手立て2 ジャンプの問題の取り入れ方の工夫

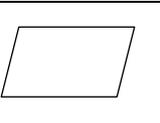
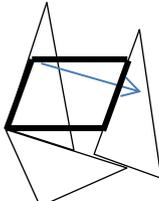
① ジャンプの問題・・・別のやり方の思考例を考えることで、考えを広げ理解をより確かなものにする。

② ジャンプの問題を取り入れる場面 <応用1>

(3) 評価

評価規準	努力を要する児童への手だて
平行四辺形のかき方を、平行四辺形の意味や性質を活用して考え、説明している。 〈数学的な考え方〉	個別に操作活動を支援し、しんじさんの考え（向かい合う辺が平行になるように線を引く）につなげる。グループ学習や全体での学び合いを通して、理解につなげるようにする。

(4) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点	評価・準備するもの(評価方法)
つかむ 7分	1 問題を把握する。 右の図のような平行四辺形のかき方を考えましょう。 	・既習事項をもとに、かける部分と困難になる部分を全員で確認し、何が分かればいいのかを考え、課題につなげる。	・平行四辺形の図
たしかめる 33分	2 課題を把握する。 頂点Dの位置の決め方を考えよう。 3 学習課題の解決を図る。(グループ隊形) ・三角定規を使ってかき方を考える。(しんじさんの考え) 〈児童の活動例〉  向かい合った辺が平行であることを使う。	・しんじさんの考えについては、最初の図のみを提示し、続きを考えさせる。 ・実際に三角定規を操作しながら考えるようにさせる。 ・考え方が分かるように、説明も書くようにさせる。 ・困ったときは、グループ内で聞いたり、交流したりさせる。	・三角定規 ・プリント ・しんじさんの考えの図 【評価】 平行四辺形のかき方を、平行四辺形の意味や性質を活用して考え、説明している。 〈数学的な考え方〉 (ノート・発言)

	<p>4 全体で解決する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 考え方を説明する。 • 平行四辺形のどんな性質を使っているのかを考える。 <p>5 ジャンプの問題に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コンパスを使ってかき方を考える。 (かおりさんの考え) <p>〈児童の活動例〉</p> <p style="text-align: center;">コンパスを使って、向かい合う辺の長さが同じになるようにかく。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 考え方を説明する。 • 考え方の共通性を確認する。 <p>6 課題についてまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 平行四辺形は、平行四辺形のとくちようを使ってかくことができる。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> • 考えと操作を連動させながら説明させる。 • 自分の考えと比べながら聞くようにさせる。 • 手順の説明で終わらせず、三角定規の操作の意味を考えさせることで根拠にもどり、話し合いの中で考えを明確にしていきたい。 • 児童の言葉を板書し、まとめにつなげていけるようにする。 • その方法のよさを全体で考え、平行四辺形の性質との関連に気付かせたい。 • かおりさんの考えについては、児童の様子に合わせて考え方の図を提示していくようにする。 • 複数の児童の発表をつなげて説明させる。 • しんじさんの考えと同様に、どうしてこのかき方で平行四辺形がかけるのか考えさせる。 • 平行四辺形のどんな性質を使ってかいたのか、かき方の根拠をしっかりと押さえまとめにつなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> • コンパス • かおりさんの考えの図
ふかめる 5分	<p>7 本時の学習をふりかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自己評価と感想を書く。 • 感想を発表する。 <p>8 次時の学習について確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 意欲、課題に対する理解の観点で自己評価をする。 • 次時は実際にいろいろな平行四辺形をかくことを確認する。 	

(5) 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>問題</p> <p>右の図のような平行四辺形のかき方を考えましょう。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>頂点 D の位置の決め方を考えよう。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>平行四辺形は、平行四辺形のとくちようを使ってかくことができる。</p> </div>
<div style="border: 1px solid black; height: 100px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">しんじ</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; height: 100px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">かおり</p> </div>	